

## 「ヘルペス手記」匿名希望 59歳

2014年1月4日

耳鳴りと難聴が始まったのは1年前の2013年1月10日からです。しかし当初耳鳴りと気がつかずにいました。頭全体が鳴っていたのです。20年前に突発性難聴を患った時ははっきりと耳閉感と難聴がありましたのに今回はなく、前年の夏頃から頭の表皮が痛く感じてなぜだろうと不思議に思っていました。仕事も急に人員が不足して負担が増え腰痛もありました。その上歯科治療で歯の欠損が2ヶ月あり咀嚼にも影響がありました。ですから肩こりと疲労ぐらいに思っていました。

マッサージに通ってもいっこうに改善しないので、もしやと思って突発性難聴時と同じ耳鼻科を受診しました。500dB、125dB、50dBで聞こえが悪く低音感音性難聴と診断されました。歯科で1時間口を開けっ放しの治療をしてまもなく発症したのでした。

耳鼻科では決まり通りステロイド20mgを減量しながら1週間服用しました。メチコバルとアデフォスも服用しました。ステロイドの服用後に受診した際は別の医師がメニエールだろうと言い、イソバイドを処方しました。私は眩暈などなく耳鳴りが全然変わらずこれでは効果ないとわかりましたのですぐ内服を止めました。耳鼻科では勧められた酸素吸入を30分受けながら（実際そのころ頭は酸欠状態でした）、ネットで検索した（松本医院を探せなかったのは残念でした）耳鳴り専門の針治療を受けました。しかし、体全体が懲りまくっているのに耳だけを治療するのに疑問を持ち、20回終了したところで止めました。その頃は頭も首も背部もガチガチになっていました。整形外科、脳外科も受診しましたが問題はなかったのです。更年期症状の一つかと思いき婦人科にも相談しましたが否定されました。ここまで6ヶ月を要しました。それから全身状態を見ながら治療してくれる治療院に通い針とお灸を毎週受け、体のこりがようやくとれ始めた頃、ネット上に松本医院を見つけました。それが去年の10月です。

松本医院のホームページで患者さんたちの手記を読み、また受診をしてストレス対処について話を聞いて自分に照らし合わせてみて納得できました。東京からは遠かったので続けていけるだろうかと思いましたが、抗ウイルス剤と漢方薬の処方も途切れることなく新たな年を迎えることができました。自覚症状のほうは右側の耳鳴りは持続していますが、初めてベルスクロンと漢方薬を内服したときはすぐ体のガチガチ、頭の表面のピリピリ感が取れました。漢方薬

のお陰か身体全体の状態がとても良く元気が出てきました。耳鳴りも頭鳴りが  
ぶり返したときもあったのですが、我慢できる程度でした。これからは少し長  
期戦でと思っています。